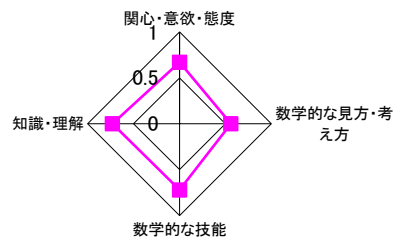


内容別・観点別の分析

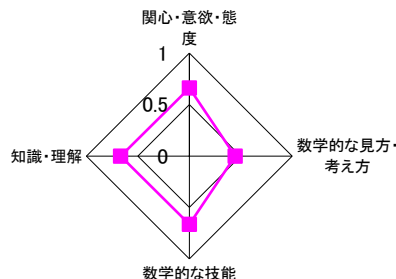
1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	67%
数学的な見方・考え方	56%
数学的な技能	72%
知識・理解	73%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



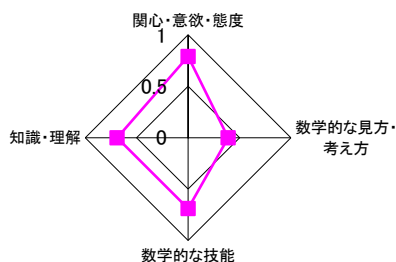
2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	66%
数学的な見方・考え方	45%
数学的な技能	66%
知識・理解	67%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



3年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	79%
数学的な見方・考え方	39%
数学的な技能	69%
知識・理解	69%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	「関心・意欲・態度」、「知識・理解」に関しては概ね定着してきているが、「数学的な見方・考え方」の観点に不十分などがあるので、この点について指導改善する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し反復して学習することによって、基礎学力の定着を図る。</li> <li>自らの考え方を説明するような指導場面を設定する。</li> <li>すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の小テストの誤答を分析し、授業で復習を行っていく。</li> <li>学力向上支援講師と連携して個別指導と補充学習を実施する。</li> <li>解決のための課程を表現するような課題を設定し取り組ませる。</li> <li>今まで学んできたことを活用し、授業の内容を広げたり、深めたりしていく。</li> </ul>
2年	「数学的な見方・考え方」の観点に関しては、他の観点と比較して低い数値である。意欲的な生徒が多いので、生徒が興味をもつような題材や、日常生活に関係のある題材を授業で扱い、自ら考えて取り組む学習活動を促すよう、指導改善を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し反復して学習することによって、基礎学力の定着を図る。</li> <li>深く考える場面が増えるような課題の提示を心がける。</li> <li>自らの考え方を説明できるような指導場面を設定する。</li> <li>すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の小テストの誤答を分析し、授業で復習を行っていく。</li> <li>学力向上支援講師と連携して個別指導と補充学習を実施する。</li> <li>解決のための課程を表現するような課題を設定し取り組ませる。</li> <li>必要な生徒に対しては、発展的な課題を個別に提示する。</li> </ul>
3年	最上級生となり、学習に前向きに取り組む姿勢ができてきた。知識や技能については、少しずつ定着してきている。一方で「数学的な見方・考え方」が他の観点に比べて不十分であるので、この点について指導改善を図る必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>深く考える場面が増えるような課題の提示を心がける。</li> <li>自らの考え方を説明できるような指導場面を設定する。</li> <li>すぐに解説するのではなく、ヒントを与え、生徒自らの力で答えを導かせ、分かる喜びを経験させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の小テストの誤答や、東京都の学力調査を分析し、授業で活用していく。</li> <li>学力向上支援講師と連携して個別指導と補充学習を実施する。</li> <li>必要な生徒に対しては、発展的な課題を個別に提示する。</li> </ul>